

**TORAY**  
Innovation by Chemistry

令和5年度環境デュー・ディリジェンス普及セミナー資料

# 東レグループの人権・環境 デューデリジェンスの取り組み

東レ株式会社 CSR推進室長 松井滋樹

2024年3月18日

**会社名:** 東レ株式会社  
**設立:** 1926年1月  
**資本金:** 1,479億円  
**売上収益:** 2兆4893億円 (2023年3月期)  
**連結対象会社:** 310社 (国内114社、海外196社)  
**従業員数:** 東レ 6,992人  
国内連結子会社 10,420人  
海外連結子会社 31,270人  
計 48,682人  
(2023年3月31日現在)

## 主な事業内容:

繊維



機能化成品



炭素繊維複合材料



環境・  
エンジニアリング



ライフサイエンス  
／その他



東レはあらゆるモノづくりのモトになる素材を化学の力を利用して生み出す総合素材メーカー

## 企業理念

わたしたちは  
新しい価値の創造を通じて  
社会に貢献します

## 経営基本方針

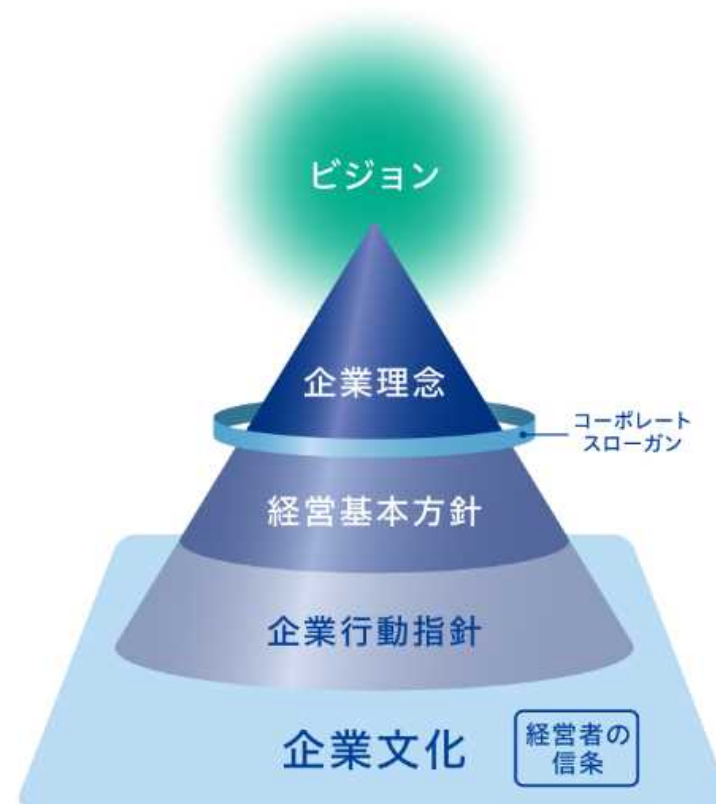
お客様のために	新しい価値と 高い品質の製品とサービスを
社員のために	働きがいと公正な機会を
株主のために	誠実で信頼に応える経営を
社会のために	社会の一員として責任を果たし 相互信頼と連携を

## 企業行動指針

- ◆安全と環境
- ◆倫理と公正
- ◆お客様第一
- ◆革新と創造
- ◆現場力強化
- ◆連携と共創
- ◆人材重視
- ◆情報開示
- ◆人権尊重

## ビジョン

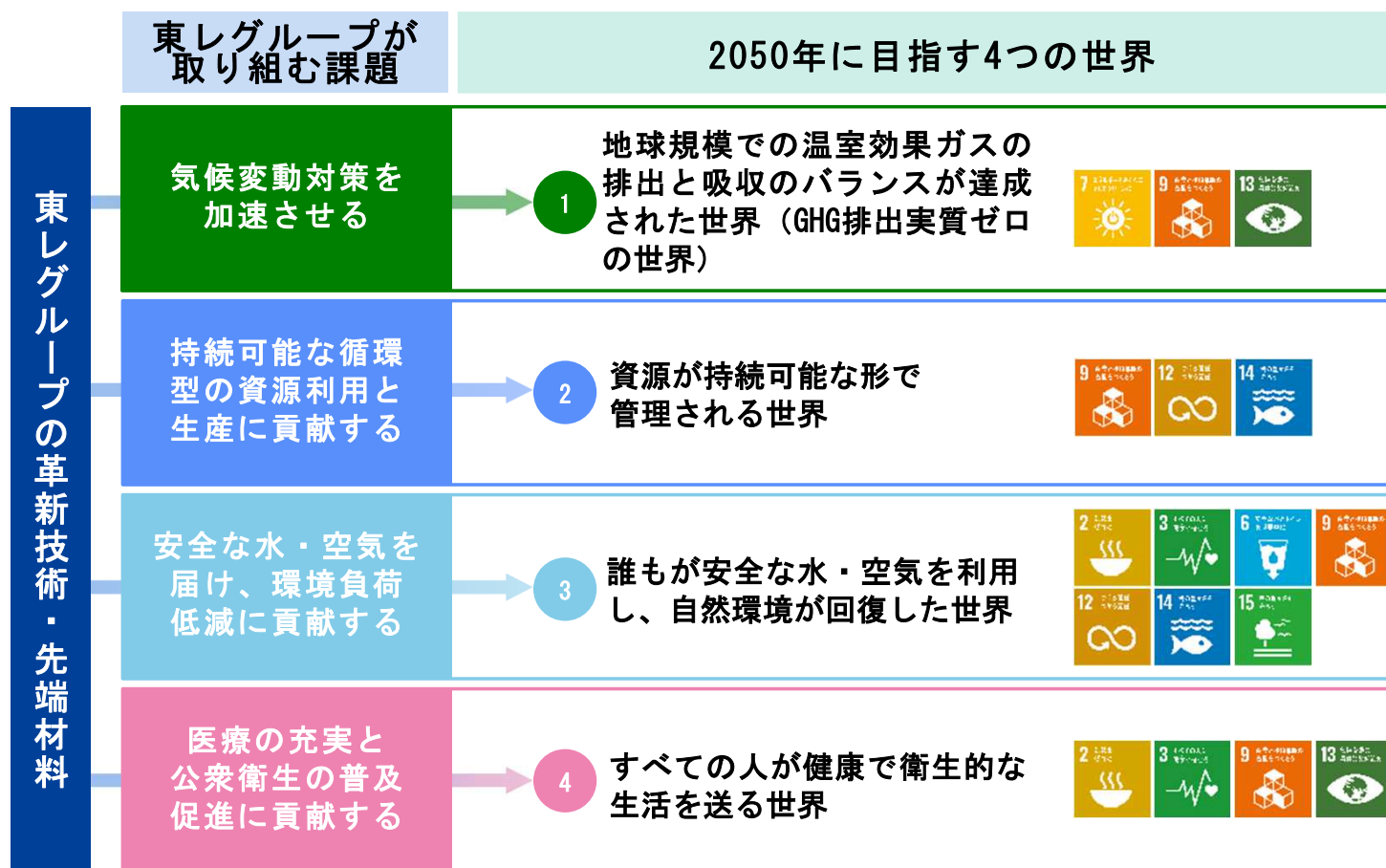
東レグループ サステナビリティ・ビジョン



東レ理念

# 東レグループ サステナビリティ・ビジョン

世界が直面する「発展」と「持続可能性」の両立をめぐる地球規模の課題に対し、革新技术・先端材料の提供により、本質的なソリューションを提供します。



東レグループの革新技术・先端材料

# 東レグループのCSR活動（1）CSRガイドライン TORAY

東レグループでは、以下の10個からなるCSRガイドラインを策定し、ガイドラインに基づき、CSR活動を推進している。

<b>ガイドライン1</b> <b>企業統治</b>	企業が果たすべき社会的な責任の一環として、経営システムや制度を常に見直し、内部統制の強化に努めます。	<b>ガイドライン6</b> <b>コミュニケーション</b>	企業情報を積極的・公正にわかりやすく開示し、経営の透明性を維持します。お客様、社員、株主、取引先、消費者、地域社会、マスメディアなど各ステークホルダーに適切に情報を開示し、対話と協働を促進します。
<b>ガイドライン2</b> <b>倫理とコンプライアンス</b>	社会からの信頼を獲得すべく、全ての役員と社員が常に公正さと高い倫理観、責任感を持ち、コンプライアンス意識に基づいた行動を徹底します。	<b>ガイドライン7</b> <b>事業を通じた社会的課題解決への貢献</b>	イノベーションを通じて、気候変動、資源・エネルギー問題、水資源・自然環境の保全、医療の充実・公衆衛生の普及促進などの様々な社会的課題へのソリューションを提供し、社会の持続的発展に貢献します。
<b>ガイドライン3</b> <b>安全・防災・環境保全</b>	原材料の調達から製品の製造、供給、廃棄に至るまでのすべてのプロセスにおいて、社会と社員の安全と健康を守り環境保護に努めます。	<b>ガイドライン8</b> <b>人権推進と人材育成</b>	人権を尊重し、健康で安心して働ける職場環境を確保します。また、人材の確保と育成、雇用の多様化に取り組むと共に、「社員の雇用を守ること」に努めます。
<b>ガイドライン4</b> <b>製品の品質と安全</b>	製品の品質保証と安全の管理体制を強化し、適切な情報提供に努め、安全で信頼性の高い製品を供給します。	<b>ガイドライン9</b> <b>持続可能なサプライチェーンの構築</b>	持続可能なサプライチェーン構築のため、調達・購買先、外注先、販売先、物流会社と協働し、環境保全・人権尊重などサプライチェーン全体でのCSR調達を促進します。
<b>ガイドライン5</b> <b>リスクマネジメント</b>	平時からリスクの把握・分析を行い、その低減・予防に努めます。また、当社の経営活動に重大な影響を及ぼす恐れのある危機が発生した場合には、迅速かつ的確な対応をとり、事態の拡大防止および速やかな收拾・正常化を図ることを目指しています。	<b>ガイドライン10</b> <b>良き企業市民としての社会貢献活動</b>	良き企業市民として、積極的に社会・地域に参画し、その発展に貢献します。

# 東レグループのCSR活動（2）CSRロードマップ TORAY

## 9 持続可能なサプライチェーンの構築

【推進責任者】  
 購買・物流部門長  
 （推進責任部署：購買・物流企画推進室）

持続可能なサプライチェーンの構築のため、調達・購買先、外注先、販売先、物流会社と協働し、環境保全・人権尊重などサプライチェーン全体でのCSR調達を促進します。

### 関連マテリアリティ

- ③ ステークホルダーとの共創と対話による発展
- ④ 持続可能なサプライチェーンの構築

### CSRロードマップ目標

東レグループ全体で、調達・購買先、外注先などのサプライヤーと法令遵守、地球温暖化防止や環境保全、人権尊重などのCSRの取り組みを推進します。

### 主な取り組み

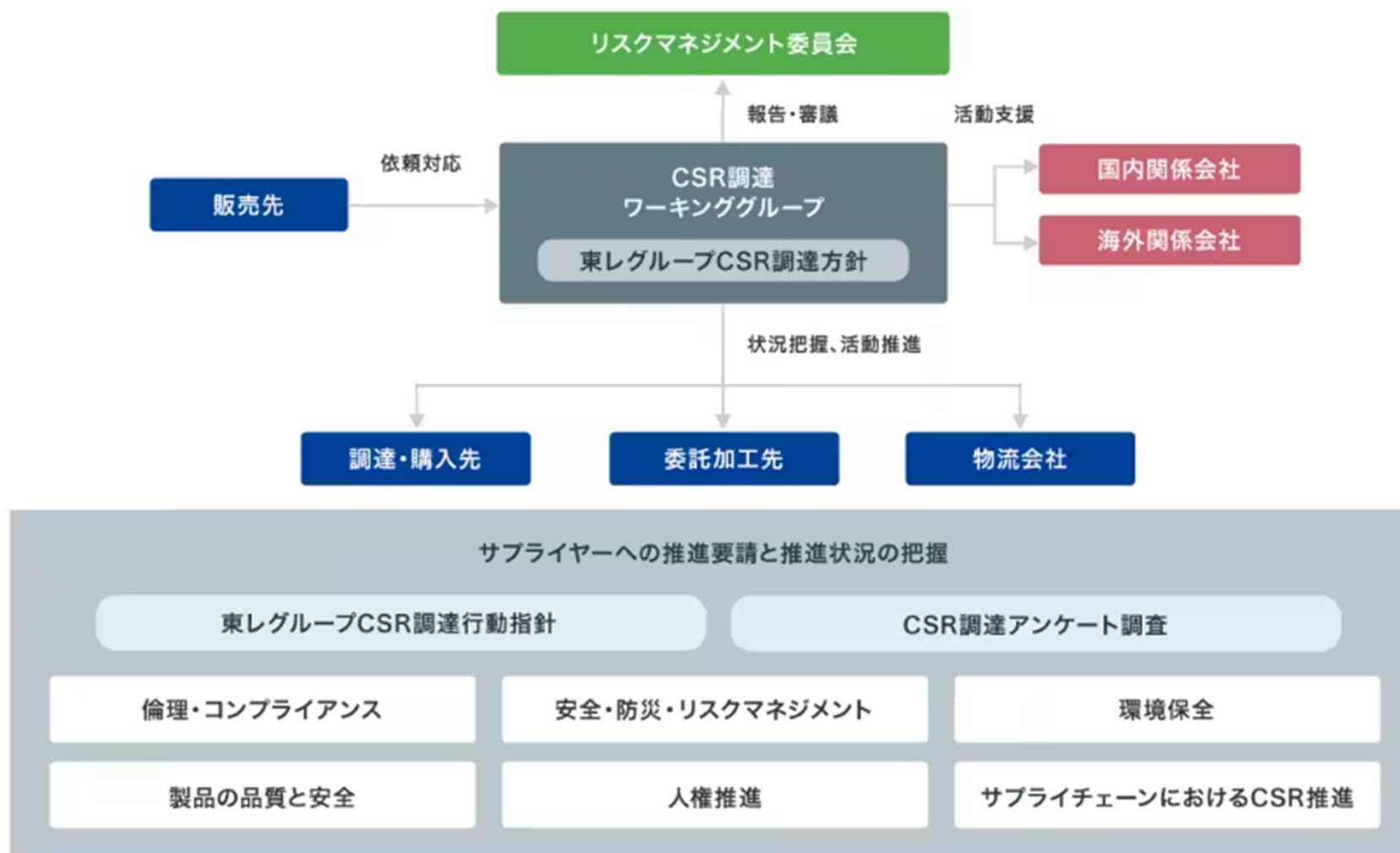
	関連マテリアリティ	KPI
(1) サプライヤーに対して、「東レグループCSR調達行動指針」の遵守を要請するとともに、各社のCSRへの取り組み状況の把握に努めます。	③ ④	9-①
(2) 環境や人権への負の影響を生じさせるリスクの高い領域を特定し、特定したリスクに対して予防・低減などの措置を行うサプライチェーンデューデリジェンスを進めます。 【関連する取り組み】2-⑤、8-③	③ ④	9-②
(3) 紛争鉱物やパーム油などに関して持続可能性に配慮した調達を推進します。	③ ④	9-③
(4) 物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量原単位を削減します。 【関連する取り組み】3-⑥、7-②	③ ④	9-④
(5) 台風や豪雨などの自然災害による物流へのリスクを継続的に調査・把握し、リスクの低減に努めます。【関連する取り組み】5-①	③ ④	9-⑤
(6) 物流に関わる環境負荷の低減と品質向上に継続的に取り組みます。	③ ④	—
(7) 「ホワイト物流」 <sup>(注)</sup> の自主行動宣言に基づき、働き方改革などに取り組む物流事業者の積極的活用など、持続可能な物流の実現を目指していきます。	③ ④	—

東レグループではCSRの3か年計画であるCSRロードマップを策定して計画的にCSRを推進している。CSRロードマップでは、ガイドラインごとに推進組織・責任者を定めて、主な取り組みやKPIを設定している。また、毎年KPIの達成度合いを開示。現在のCSRロードマップ2025は第8次のロードマップとなる。左の図はCSRロードマップ2025の一例。（ガイドライン9の持続的なサプライチェーンの構築）

## KPIの例

	KPI (重要達成指標)	目標値			集約対象範囲
		2023年度	2024年度	2025年度	
9 持続可能なサプライチェーンの構築	① 「東レグループCSR調達行動指針」への同意を確認したサプライヤーの比率（社数・%）	75%以上	85%以上	90%以上	※(1)
	② サプライチェーンデューデリジェンスの実施率（件数・%）	60%以上 (2024年度)		90%以上	※(1)
	③ 環境保全・人権尊重に配慮したパーム油を使用している油剤などの比率（購買金額、%）	70%以上 (2024年度)		90%以上	※(2)
	④ 物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量原単位の前年対比削減率	1%	1%	1%	東レグループ (特定荷主： 東レ、TAF)
	⑤ 主要社外在庫拠点の内、自然災害リスクを評価し、重大なリスクへの対策が完了した拠点の比率（拠点数・%）	60%以上	75%以上	90%以上	※(2)

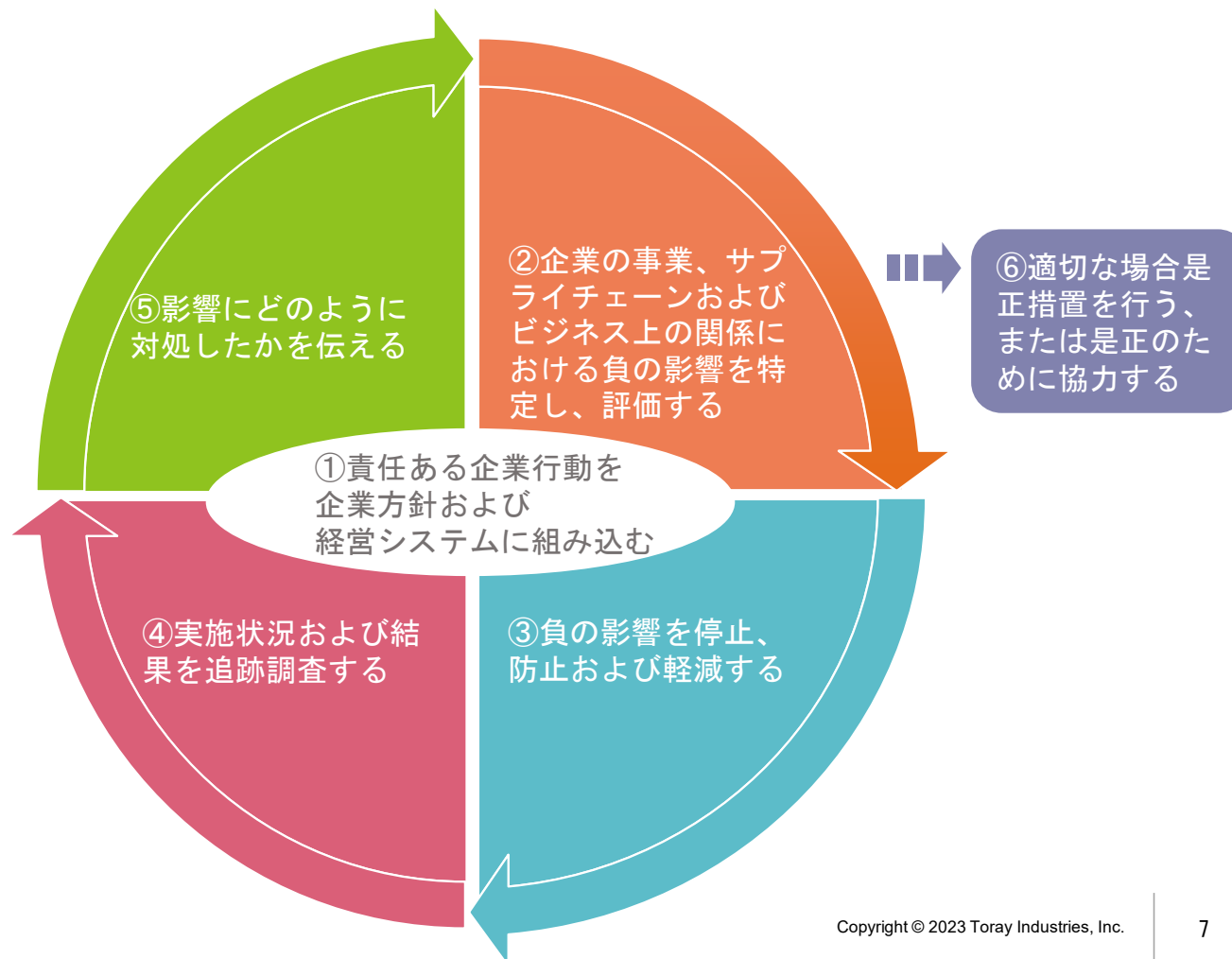
# 東レグループのCSR調達体制



## 東レグループのデューデリジェンスの仕組み

- 1. 方針類：**  
東レグループ人権方針、東レグループCSR調達方針、環境10原則、東レグループ生物多様性方針等の制定。「東レグループCSR調達行動指針」を取引先に提示し、「同意確認書」を取り付け。
- 2. 負の影響を特定し評価：**  
CSR調達アンケートの実施と評価、通報相談窓口の設置、CSR調達に関する高リスク課題調査、企業検索システムによる取引先リスクの確認。
- 3. 負の影響を防止、軽減：**  
CSR調達アンケート評価結果のフィードバック、低評価企業を訪問して改善要請。
- 4. 実施状況および結果を追跡調査：**  
次回のCSR調達アンケート等で改善状況の確認。
- 5. 負の影響への対処結果を開示：**  
CSRレポートや英国現代奴隷法声明文での公表。

## OECDデュー・ディリジェンス・ガイダンスが示すDDプロセス





# CSR調達アンケート

東レ（株）では、総購買額の9割をカバーする主要な調達・購買先、外注先、物流会社を対象として、CSR調達アンケートを原則2年ごとに実施している。

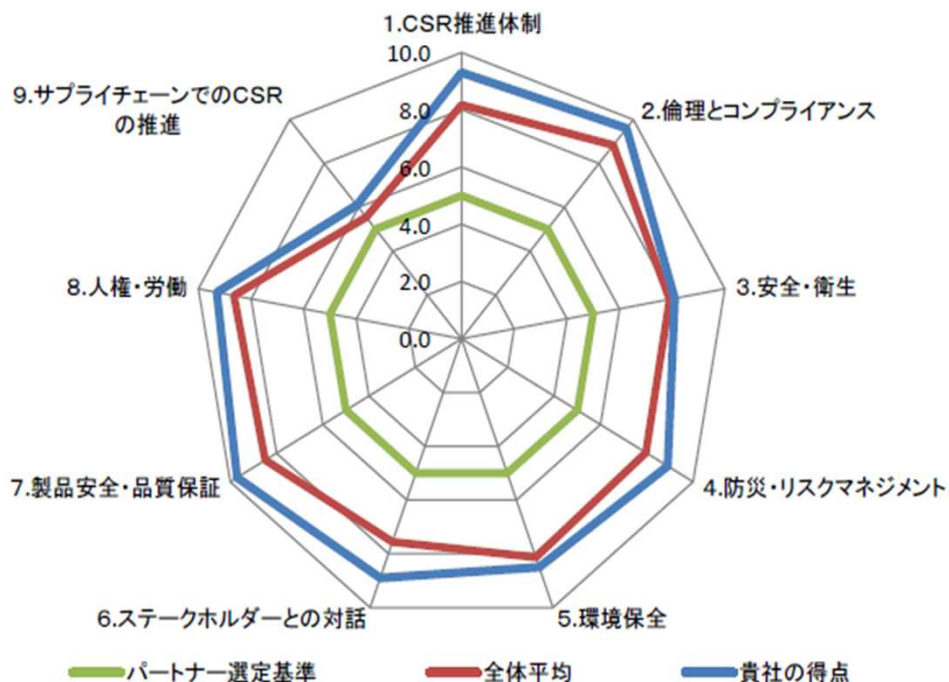
## CSR調達アンケートの主な調査項目

<b>I. 推進体制</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 方針・ガイドラインの制定及び周知</li><li><input type="checkbox"/> 社内体制の整備及び責任者の選任</li><li><input type="checkbox"/> 目標・計画の制定、活動結果の検証</li></ul>	<b>IV. 防災・リスクマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 災害時のための教育訓練・マニュアルの整備</li><li><input type="checkbox"/> 大規模災害を想定した事業継続計画（BCP）の策定</li><li><input type="checkbox"/> パンデミックを想定したBCPの策定</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御</li></ul>	<b>VI. ステークホルダーとの対話</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 財務情報及び非財務情報の公開</li><li><input type="checkbox"/> 相談・通報窓口の設置、通報者保護</li><li><input type="checkbox"/> 地域活動・社会貢献活動の支援、参加の奨励</li></ul>
<b>II. 倫理とコンプライアンス</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 腐敗防止・贈収賄の禁止</li><li><input type="checkbox"/> 優越的地位の濫用、談合等の防止</li><li><input type="checkbox"/> 法令遵守とコンプライアンスの徹底</li><li><input type="checkbox"/> 利益相反行為の禁止</li><li><input type="checkbox"/> 機密情報・個人情報の保護</li><li><input type="checkbox"/> 知的財産の尊重・保護</li><li><input type="checkbox"/> 反社会的勢力との関係遮断</li><li><input type="checkbox"/> 規制対象技術や違法輸出の防止</li><li><input type="checkbox"/> 紛争鉱物・コバルトの使用と原産国の把握</li></ul>	<b>V. 環境保全</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 許可・登録等の取得と維持</li><li><input type="checkbox"/> 汚染物質・廃棄物の抑制、資源利用（3R）の促進</li><li><input type="checkbox"/> 化学物質・汚染物質の法規制に従った適切な管理</li><li><input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出量管理と削減</li><li><input type="checkbox"/> グリーン調達・グリーン購入・省エネ活動の実施</li><li><input type="checkbox"/> 水資源や生物多様性への配慮とアセスメント実施</li><li><input type="checkbox"/> 環境保全のマネジメントシステムの導入</li></ul>	<b>VII. 製品安全・品質保証</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 製品安全性の評価、含有物質の管理</li><li><input type="checkbox"/> 仕様・品質・取扱い情報等の提供</li></ul> <b>VIII. 人権・労働</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 児童労働の禁止及び若年労働者への配慮</li><li><input type="checkbox"/> 強制労働、奴隷労働等、不法・非人道的労働の禁止</li><li><input type="checkbox"/> 外国人労働者の適切な情報提供と雇用</li><li><input type="checkbox"/> 不当な低賃金・減額、法定限度を超えた労働の防止</li><li><input type="checkbox"/> ハラスメント、体罰、虐待等の禁止</li><li><input type="checkbox"/> 組合の結成、団体交渉等の権利の保護</li><li><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染拡大による影響への対応</li></ul>
<b>III. 安全・衛生</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 職場の安全対策と環境改善</li><li><input type="checkbox"/> 労働災害の防止</li><li><input type="checkbox"/> 事故や衛生上のリスクの予防</li><li><input type="checkbox"/> 労働安全に関するマネジメントシステムの導入</li></ul>		<b>IX. サプライチェーンでのCSRの推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> サプライヤーへのCSR推進の要請</li></ul>

# CSR調達アンケートの結果分析と改善依頼

CSR調達アンケートに回答した全ての取引先に対して分析・評価結果及び改善のポイントをフィードバックしている。また当社要求レベルに満たなかった取引先（C、Dレベルの取引先など）に対しては、個別訪問し、実態確認や改善のための対策協議を行い、各社での対策実施状況も確認している。

## A社の評価結果(サンプル)



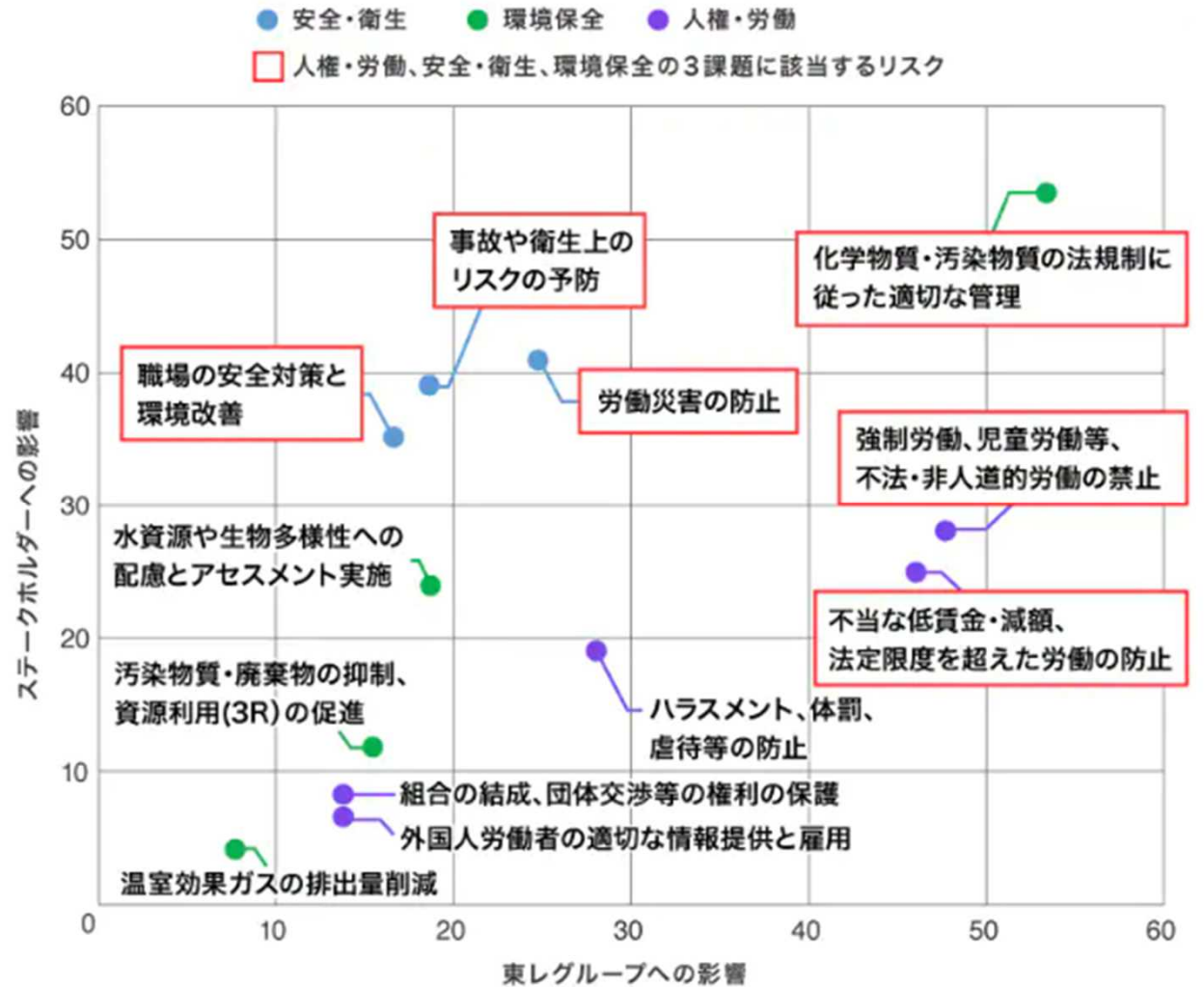
## 環境保全に関する2022年度 CSR調達アンケート回答結果のまとめ (一部抜粋)

調査内容	実施率	調査結果 (取り組みレベルを0~4で評価。0及び1は未実施)
1. 環境保全を推進するために、方針・ガイドラインを定め、従業員に周知していますか？	97.9%	[4] 68% [3] 11% [2] 20% [1] 1% [0] 1%
2. 環境保全を推進するために、社内体制を整備し、推進責任者を決めていますか？	97.2%	[4] 65% [3] 14% [2] 18% [1] 1% [0] 2%
3. 環境に関するリスクの特定、目標または計画の制定、活動結果の検証及び改善・是正の仕組みはありますか？	97.7%	[4] 61% [3] 14% [2] 22% [1] 1% [0] 2%

# CSR調達に関する高リスク課題調査

東レグループでは国・地域・業種などから重要なCSR 調達リスク項目と、対象サプライヤを洗い出し、リスクの有無の調査や監査・対策を行うプロセスの導入を進めている。

右の図は、CSR調達リスクの洗い出しおよび優先付けを行ったもの。



# CSR調達に関する開示

東レグループではウェブを中心にCSR調達の取り組みを開示している。  
また、英国現代奴隷法の声明文も毎年発行・登録している。

## 持続可能なサプライチェーンの構築

持続可能なサプライチェーンの構築のため、調達・購買先、外注先、販売先、物流会社と協働し、  
環境保全・人権尊重などサプライチェーン全体でのCSR調達を促進します。



### 基本的な考え方

東レグループは、世界の国や地域でさまざまな事業を展開しており、それに伴って原材料や資材の調達、外注先や委託先の所在や業種も多岐にわたっています。  
一方、国際社会におけるCSRの取り組みの重要性は、地球温暖化防止や環境保護、人権尊重や労働環境の改善などますます多様化、高度化しており、その対応は日

## 英国現代奴隷法にかかる声明

東レグループは、英国で施行された現代奴隷法第 54 条の定めに基づき、本声明を公表します。

本声明は、東レグループが、自社事業およびサプライチェーンにおける奴隷労働・人身売買を防止するために、2022 年度に行った取り組みについて記載しています。

### 1. 東レグループの組織・事業内容

東レグループは、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンスなどの事業を世界の 29 か国・地域で展開しています。2023 年 3 月 31 日時点で、関係会社数は 310 社（国内 114 社、海外 196 社）であり、従業員数は 48,682 人（国内 17,412 人、海外 31,270 人）です。

東レグループの組織および事業の詳細については、以下のリンクより東レ株式会社ウェブサイトをご覧ください。

【東レ株式会社ウェブサイト】

<https://www.toray.co.jp/>

### 2. 奴隷労働・人身売買防止に関する東レグループの方針

#### (1) 東レ理念

# CSR調達に関する社内教育

TORAY

東レグループに勤務する社員（派遣社員なども含む）を対象に、毎年CSRウェブセミナーを開催している。  
今年も、「CSR調達」をテーマにセミナーを開催。（昨年はサーキュラーエコノミー。）

## CSRウェブセミナー

### 「サーキュラーエコノミー」って、なに？

～世界的に企業に求められることと、東レグループの取り組み～

## CSRウェブセミナー

### 「CSR調達」って、なに？

～持続可能なサプライチェーン構築の意義と取り組み～

ついて理解を深めていただくために、以下の要領

15:00 （講義：約35分、質疑応答：約20分）

近年、サプライチェーン全体での人権や環境問題などの社会課題への取り組みがますます求められています。東レCSR推進室は、CSR調達について理解を深めていただくために、以下の要領でウェブセミナーを開催します。

日時

2024年3月15日(金) 15:00～16:15 （講義：約45分、質疑応答：約30分）

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**